

ミネベアミツミ、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に賛同を表明

ミネベアミツミグループはこのたび、2020年8月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明いたしました。

ミネベアミツミグループは、『より良き品を、より早く、より多く、より安く、より賢く』つくって社会に貢献する。」という経営理念と、その実現を担保する経営の基本方針「五つの心得」のもと、地球環境および人類の持続可能な発展に貢献し、サステナブル経営の実現を目指しています。

今後、TCFDの提言に沿った情報開示・発信を行うとともに、持続可能な社会の実現に貢献すべく、取り組みを強化していきます。



ガバナンス	戦略				
<p>コーポレート・ガバナンスにおいて気候変動問題に関して以下の体制を確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 気候変動に対して責任を持つリスク管理委員会、環境マネジメント委員会は社長直下の組織として機能 ▶ リスク管理委員会及び環境マネジメント委員会の決定事項は定期的に取締役会へ報告され、気候変動に関するリスクや機会についても取締役会議長のCEOが監視、監督責任を有する 	<p>戦略策定プロセスに気候変動問題を包含</p> <p>気候変動に関連するリスクと機会をミネベアミツミのレジリエンスと成長戦略に考慮</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e1f5fe; padding: 5px; text-align: center;">〈リスク〉</td> <td style="background-color: #e1f5fe; padding: 5px; text-align: center;">〈機会〉</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1f5fe; padding: 5px;"> <p>物理的リスク対応： 災害の激甚化に伴うBCPの推進</p> <p>移行的リスク対応： 規制強化やカーボンプライシングシステムへ備えたエネルギー効率、再エネ導入によるCO₂削減</p> </td> <td style="background-color: #e1f5fe; padding: 5px;"> <p>気候変動に伴う市場の変化等による機会対応： 製品に関連する戦略を、次の10年を見据えた「ミネベアミツミの次の10年」という成長戦略で推進</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; background-color: #e1f5fe; padding: 5px;">〈シナリオ分析〉</p> <p>気候変動によってミネベアミツミの事業にどのような影響が及ぼされるのかを考察するために、4℃シナリオと2℃を十分に下回るシナリオによって、2030年、2050年という時間的視点にたったシナリオ分析を現在実施しており、戦略の有効性を高める</p>	〈リスク〉	〈機会〉	<p>物理的リスク対応： 災害の激甚化に伴うBCPの推進</p> <p>移行的リスク対応： 規制強化やカーボンプライシングシステムへ備えたエネルギー効率、再エネ導入によるCO₂削減</p>	<p>気候変動に伴う市場の変化等による機会対応： 製品に関連する戦略を、次の10年を見据えた「ミネベアミツミの次の10年」という成長戦略で推進</p>
〈リスク〉	〈機会〉				
<p>物理的リスク対応： 災害の激甚化に伴うBCPの推進</p> <p>移行的リスク対応： 規制強化やカーボンプライシングシステムへ備えたエネルギー効率、再エネ導入によるCO₂削減</p>	<p>気候変動に伴う市場の変化等による機会対応： 製品に関連する戦略を、次の10年を見据えた「ミネベアミツミの次の10年」という成長戦略で推進</p>				
リスク管理	指標と目標				
<p>全社的リスク管理プロセスに気候関連課題を統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 全社的リスク管理プロセスの様々なリスク要素の中に気候変動課題を統合 <p>リスク管理プロセス概要</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px;">リスク・機会をバリューチェーン目線で調査</div> <div style="font-size: 24px;">→</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; border-radius: 5px;">発生の可能性と影響の大きさを財務的インパクトも含めマテリアリティ分析</div> <div style="font-size: 24px;">→</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; border-radius: 5px;">対応計画の策定と成果を取締役会へ定期的に報告</div> </div>	<p>【気候変動に関連する指標と目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ Scope 1と2について、2030年・2050年目標の策定を検討中（目標は、脱炭素社会への移行の動向に鑑み、SBT承認水準を念頭に検討） ▶ 再生可能エネルギーの導入目標の策定を検討中 				

TCFD とは：

Task Force on Climate-related Financial Disclosures の略で、金融安定理事会（FSB = Financial Stability Board）により設立された機関。（日本語「気候関連財務情報開示タスクフォース」）2017年6月に公表した最終報告書（提言）で、企業等に対して、気候変動関連のリスクと機会について開示することを推奨、そのフレームワークを提示。

ミネベアミツミ サステナビリティページ：

<https://www.minebeamitsumi.com/corp/environment/index.html>

【ミネベアミツミグループについて】

ミネベアミツミは、IoT(Internet of Things)時代に貢献するエレクトロメカニクスソリューションズ^{®*}プロバイダーとして世界シェア No.1**を誇るミニチュア・小径ボールベアリングから、モーター、センサーや、半導体、無線技術に至るまで、幅広い先端技術を相い合わせ、常識を超えた「違い」で新しい価値を作り出す「相合(そうごう)」精密部品メーカーです。

設立年月日： 1951年7月16日
資本金： 68,258百万円(2020年3月末現在)
代表者： 代表取締役 会長兼社長執行役員 (CEO & COO) 貝沼 由久
事業内容： ベアリングなどの機械加工品事業、
電子デバイス、小型モーターなどの電子機器事業、
自動車部品・産業機械・住宅機器事業
上場証券取引所： 東京、名古屋
連結売上高： ミネベアミツミグループ 978,445百万円
(2019年4月1日~2020年3月31日)
エイブリックグループ 30,574百万円
(2019年4月1日~2020年3月31日)***
従業員数： 連結約10万人
拠点数： 27か国 製造・研究開発93拠点、営業91拠点、計184拠点
ウェブサイト： www.minebeamitsumi.com

*エレクトロメカニクスソリューションズは、ミネベアミツミ株式会社の登録商標です。登録番号は5863395号です。

**外径22mm以下のボールベアリング市場。ミネベアミツミ調べ。

*** エイブリックグループは、2020年4月30日付で、経営統合によりミネベアミツミグループの一員となりました。

報道関係お問い合わせ先：
ミネベアミツミ株式会社 広報・IR室
Phone: 03-6758-6703 E-mail: koffice@minebeamitsumi.com